

論文タイトル:ソフトコンタクトレンズ装用者におけるレンズ使用期間に関するコンプライアンス

掲載雑誌、年、巻、頁:日本コンタクトレンズ学会誌 2013;55(2):100-108.

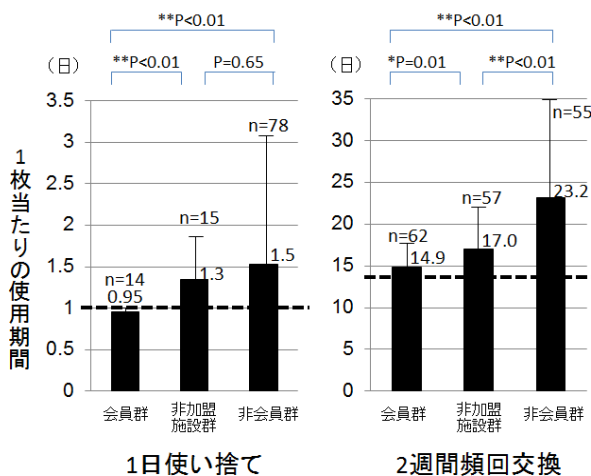
著者名(所属):月山純子(博寿会山本病院、近畿大)、宮本裕子(アイアイ眼科医院、近畿大)、加藤光男(ひらばり眼科)、市島英司、坂田博行(メニコン)、下村嘉一(近畿大)

概要:会員制システムの会員は、レンズ使用期間に関するコンプライアンス(遵守)が良好であった。推奨されるレンズ使用期間をこえて使用すると眼障害の発症率が高くなる傾向があった。

近年、コンタクトレンズ(CL)装用者の増加に伴い、一部のCL装用者の間ではCLが日用品化している傾向があり、CLによる眼障害が増加しています。問題なくCLを常用している装用者に対するアンケート調査では、頻回交換ソフトCLの実際の使用期間は、推奨された使用期間の1.5~2.6倍であると報告されています。

メニコンの会員制システム(メルスプラン)は、初回の入会金と毎月の定額会費で最適なCL視力を提供するシステムです。リプレースメントタイプでは通常3ヵ月毎に3ヵ月分相当のレンズが供給され、破損/紛失などでレンズがなくなった場合にもレンズが提供されます。さらに眼科医の判断で、必要に応じて(汚れ、アレルギー、乾燥感など)決められた交換サイクルを短縮することも可能です。また規格変更(度数、サイズなど)も無料で行え、全国ネットにより同一サービスが受けられ、旅行や転居の時もCLデータが追跡可能です。

医療機関6施設で2年間経過観察できたソフトCL装用者を対象としました。対象者を会員制システム加盟施設の会員(会員群146人)と非会員(非会員群135人)および会員制システム非加盟施設の対象者(非加盟施設群80人)の3群に分けました。2年間に処方したレンズ枚数から1枚あたりのレンズ使用期間を割り出し、また眼障害を調査しました。



1日使い捨てソフトCLの使用期間は、会員群 0.95 ± 0.11 日/枚、非加盟施設群 1.3 ± 0.6 日/枚、非会員群 1.5 ± 1.6 日/枚でした。2週間頻回交換ソフトCLでは、会員群 14.9 ± 2.6 日/枚、非加盟施設群 17.0 ± 4.8 日/枚、非会員群 23.2 ± 11.6 日/枚でした(左図)。2週間頻回交換ソフトCL装用者において、15日/枚以内に交換しているコンプライアンスの良好な人(遵守者)の割合は、会員群(71.0%)、非加盟施設群(49.1%)、非会員群(23.6%)の順に有意に低下しました($p < 0.01$, Fisher 正確確率検定)。

レンズを15日/枚以内に交換しているか否か(遵守/不遵守)および眼障害の有無を比較すると、コンプライアンスが低下すると眼障害が発生しやすい傾向が認められ(右図)、15日/枚を超えて交換する不遵守者での眼障害発生リスクは、15日/枚以内に交換する遵守者に比べて1.62倍高いことがわかりました。

会員制システムの会員はレンズ使用期間に関するコンプライアンスが良好であり、コンプライアンスが低下すると眼障害の発症率が高くなる傾向がありました。

